

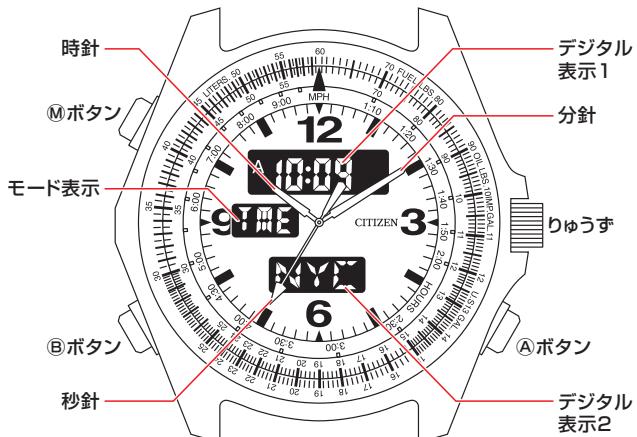
C460 簡易操作ガイド

- 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



C460取扱説明書

各部の名称



- モデルによってデザインが異なります。
- スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。

EL ライトを使う

下記の操作中に、ELライトが点灯します。

- 「TME」モード、「CAL」モード、「SET」モードの通常表示で④ボタンを押したとき
- 「CHR」モードでスプリットタイム表示したときやストップしたとき

時刻を合わせる

アナログの時刻を合わせる

- アナログの時刻(時針/分針)は、デジタル表示の時刻と連動していません。

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずを引く
秒針が止まります。

2. りゅうずを回して、時刻を合わせる

3. 時報に合わせて、りゅうずを押し込む

デジタル表示の時刻を合わせる

- デジタル表示の時刻は、アナログの時刻(時針/分針)と連動していません。
- 30都市およびUTC(協定世界時)のうち、いずれかひとつの都市の時刻合わせを行うと、他の都市の時刻も自動的に修正されます。

1. ④ボタンをくり返し押して、モードを「TME」にする

2. ②ボタンをくり返し押して、都市名表示に「TYO」を表示させる

「TYO」以外を選んだときは、現地の時刻に合わせます。

3. ②ボタンを2秒間以上押し続ける

「S.T.」(サマータイム)の「ON」/「OFF」が点滅します。

4. ①ボタンを押して、サマータイムのON/OFFを設定する

5. ②ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ
②ボタンを押すごとに、次のように対象が切り替わります。



6. ④ボタンを押して、合わせる

- 点滅している部分が、合わせる対象です。
- ④ボタンを押し続けると表示が連続して変わります。

7. 手順5、6をくり返し、他の対象を合わせる

8. ④ボタンを押して、終了する

カレンダーを合わせる

この時計のカレンダーは、うるう年を含む2099年12月31日まで、修正不要です。

1. ④ボタンをくり返し押して、モードを「CAL」にする

デジタル表示1にカレンダーが表示されます。

- デジタル表示2に曜が表示されている場合は、④ボタンを2秒間以上押して、都市名表示に切り替えます。

2. ②ボタンをくり返し押して、デジタル表示2に「TYO」を表示させる

「TYO」以外を選んだときは、現地のカレンダーに合わせます。

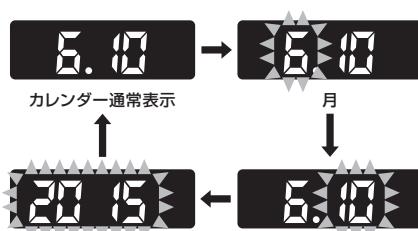
3. ②ボタンを2秒間以上押し続ける

月が点滅し、修正できるようになります。

4. ①ボタンを押して、月を修正する

5. ②ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ

- ②ボタンをくり返し押すごとに、次のように対象が切り替わります。



- 点滅している部分が、合わせる対象です。

6. ①ボタンを押して、合わせる

選んだ対象の表示が変わります。

- ①ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

7. 手順4、5をくり返し、他の対象を合わせる

8. ④ボタンを押して、終了する

曜は自動で設定されます。

ワールドタイムを使う

- ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「TME」または「CAL」にする
「CAL」を選んだときは、カレンダー表示になります。

2. ⑨ボタンを押して、都市を選ぶ

- 選んだ都市の、時刻またはカレンダーが表示されます。
- ゾーンセット機能で、表示をOFFに設定した都市は表示されません。(「ゾーンセット機能を使う」をご参照ください。)
 - ⑨ボタンと⑨ボタンを同時に押すと、呼び出し順序の切り替えができます。

都市名一覧

略称	都市名	時差	サマータイム実施
UTC	協定世界時	±0	—
LON	ロンドン	±0	○
PAR	パリ	+1	○
ROM	ローマ	+1	○
CAI	カイロ	+2	○
IST	イスタンブール	+2	○
MOW	モスクワ	+3	○
KWI	クウェート	+3	×
DXB	ドバイ	+4	×
KHI	カラチ	+5	×
DEL	ニューデリー	+5.5	×
DAC	ダッカ	+6	×
BKK	バンコク	+7	×
SIN	シンガポール	+8	×
HKG	香港	+8	×
PEK	北京	+8	×

- 一覧表の時差は、UTC(協定世界時)からの時差です。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。

アラームを使う

- アラームは、「AL1」、「AL2」にそれぞれ設定することができます。
「AL1」と「AL2」のアラーム音は異なります。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「AL1」または「AL2」にする

現在設定されている、都市とアラーム時刻が表示されます。

2. ⑨ボタンを押して、都市を選択する

3. ⑨ボタンを2秒間以上押す

アラームの時が点滅します。

4. ⑨ボタンを押して、時を設定する

- 午前と午後を間違えないように注意します。
- ⑨ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

5. ⑨ボタンを押す

アラームの分が点滅します。

6. ⑨ボタンを押して、分を設定する

- ⑨ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

7. ⑩ボタンを押して、終了する

アラームのONとOFFの切り替え

「ALM」で⑨ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。

アラーム音をとめるときは

いずれかのボタンを押します。
アラーム音は、20秒間鳴ります。

アラーム音を確認する

「AL1」または「AL2」で、⑨ボタンを押し続けると、アラーム音を確認することができます。

クロノグラフを使う

- 1/100秒単位、最大24時間まで計測できます。24時間を超えると、0時間0分0秒で停止します。
- 他のモードに切り替ても計測は継続されます。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「CHR」にする

スタート / ストップ：⑨ボタンを押します。

リセット：ストップ中に、⑨ボタンを押します。

- 計測中に⑨ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示され、「SPL」が点滅します。
- 10秒後に自動的に計測表示にもどります。

タイマーを使う

1分単位、最大99分のタイマーを設定することができます。

- 他のモードに切り替てもタイマーは継続されます。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「TMR」にする

2. ⑨ボタンを押す

- ⑨ボタンを押すごとに、タイマー設定時間が1分ずつマイナス修正されます。
- ⑨ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

3. ⑨ボタンを押す

タイマーのカウントダウンが始まります。

スタート / ストップ：⑨ボタンを押します。

リセット：ストップ中に、⑨ボタンを押します。

- タイマー作動中に⑨ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が鳴ります。音を止めるには、いずれかのボタンを押します。

ゾーンセット機能を使う

この時計で表示できる30都市及びUTC(協定世界時)の中から、表示したい都市の選択と、各都市のサマータイムのセットができます。

1. ⑩ボタンをくり返し押して、モードを「SET」にする

2. ⑨ボタンを押して、都市を選択する

3. ⑨ボタンを2秒間以上押す

ONまたはOFFと都市名が点滅します。

4. ⑨ボタンを押して、都市の表示(ON)または非表示(OFF)を選択する

- ⑨ボタンを押すごとに、ONとOFFが切り替わります。

5. ⑨ボタンを押す

「S.T.」(サマータイム)の「ON」/「OFF」が点滅します。

6. ⑨ボタンを押して、サマータイムON/OFFを選択します。

7. ⑩ボタンを押して、終了する

2~6を繰り返して、複数の都市表示の設定ができます。

オールリセットを行う

動作中のクロノグラフやタイマーはリセットされます。

1. リュウズを引き出す

2. ⑨、⑩、⑪ボタンを同時に押す

ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。

3. リュウズを押し込んで、終了する

- 確認音が鳴ります。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。